

兵庫県保険医協会北阪神支部

—新春政策研究会のご案内—

マイナンバー制度の問題点と これからの考える

講師 ^{さかもと}坂本 ^{まどか} 団 弁護士
(日本弁護士連合会情報問題対策委員会委員長)

日時 2016年1月16日(土) 16:00 ~ 18:00

会場 宝塚商工会議所第1・2会議室(宝塚市栄町2丁目1番2号 ソリオ2・6階 TEL:0797-83-2211)

※終了後、懇親会(於・がんこ宝塚苑 参加費:5000円+お飲み物代)

「通知カード」の送付が開始され、いよいよマイナンバー制度の実施が迫りました。医療機関でも税申告や職員の雇用実務のため個人番号の取得、使用が求められており、個人情報取り扱いなど、大きな負担をもたらす制度です。さらに、制度実施前にもかかわらず、すでに利用範囲拡大について法改正が審議されています。この制度の問題点と今後、医療や社会保障、また徴税にどう使われようとしているのか、日弁連の情報問題委員長を務める坂本団弁護士をお招きし、お話しいただきます。ぜひご参加ください。



・阪急宝塚駅直結、ソリオ2の6階です
・お車の方は、ソリオ1地下駐車場、阪急宝塚駅屋上駐車場等、近隣駐車場をご利用下さい。

※お問い合わせは、北阪神支部担当事務局
(Tel 078-393-1807) 小西・小川・横山まで

<講師略歴>

1991年京都大学法学部卒業。1993年弁護士登録。大阪弁護士会所属。現在、大川・松枝・坂本法律事務所にて活動。日本弁護士連合会情報問題対策委員会委員長。大阪大学法科大学院非常勤講師。

(切り取らずに返信ください) 【FAX 返信】 078-393-1820

■北阪神支部・新春政策研究会に () 名出席します
懇親会に () 名出席します

※人数をお知らせください

地区 _____
お名前 _____ 医療機関名 _____

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2015年12月15日号 No.254
発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部 支部長 中井通治
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5階
☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802
http://www.hhk.jp/

審査・指導対策研究会「指導・監査の現状と対策」を開催

困ったらまず協会へ相談を



31人が参加し、指導制度の概要や対象医療機関の選定基準、日常診療における留意点について学んだ

北阪神支部は11月21日、宝塚商工会議所で審査・指導対策研究会を開催。「指導・監査の現状と対策～日常の留意点にもふれて～(医科対象)」をテーマに、協会審査対策部副部長の八木秀満先生が講演し、医師ら31人が参加した。

八木先生は、保団連作成のテキスト『保険医のための審査、指導、監査対策』に沿って講演。「指導」とは、保険診療に関する法律や規則を遵守し、医療保険制度が円滑に運用されるように行政機関によって行われる行政指導のことを指し、不正や著しい不当が疑われる場合に、保険医療機関の指定の取消など行政上の措置を前提としている「監査」とは別物であると説明。

(2面につづく)

(1面からのつづき)



八木先生がわかりやすく解説

指導の種類としては、点数改定時などに講習会形式で行われる集団指導、1件当たりのレセプトが高点数である医療機関を対象に講習会形式で行われる集団的個別指導、開業後概ね6カ月を経過した医療機関を対象に教育的効果を目的として行われる新規個別指導と、新規個別指導以外の個別指導に分けられるとし、集団的個別指導と個別指導について対象医療機関の選定基準や指導の流れなどを説明。

日常の留意点としては、保険診療のルールを理解すること、カルテ記載を怠らないことが大切と強調し、委縮診療に陥らないよう注意喚起した。

そして、協会は、審査・指導・監査の改善を近畿厚生局に求めており、懇談や要請も継続していると活動を紹介します。さらに、日常的な審査・指導対策に力を入れており、個別指導相談や弁護士帯同相談にも積極的に応じているとして、「困ったことがあれば、まず協会へ電話してほしい」と参加者に呼びかけた。

レクリエーション企画 近日ご案内予定!

ハートのチキンラーメン手作り体験



北阪神支部では、3年前に実施し大好評だった、チキンラーメン手作り体験を企画中です。今回はバレンタイン特別企画! ハート型のチキンラーメンを作成いただける予定です。ご家族・スタッフと一緒にご予定ください。

詳細・お申込み方法は、1月初旬頃にFAXでご案内します。お楽しみに!

■日時 2月11日(祝・木)

■場所 インスタントラーメン発明記念館

(大阪府池田市満寿美町 8-25 TEL:072-752-03484 阪急宝塚線「池田」駅から徒歩5分)

■定員 25人 ※定員になり次第締め切ります

伊丹社保協が伊丹市と懇談

社会保障の充実を求め、市民の声を行政に



担当者と直接意見交換を行った

「社会保障をよくする伊丹の会(伊丹社保協、会長・小泉勇支部幹事)」は12月1日、伊丹市役所で第6回自治体キャラバンを開催。社保協加盟団体から13人が参加し、国保、介護、生活保護など市の社会保障施策の充実を求め、市担当者と意見交換した。

懇談では兵庫県下の各市町で進むこども医療費助成の拡充について、伊丹市でも中学3年生まで通院・入院ともに無料化を要望。市担当者は「厳しい財政状況の中で現行制度からの拡充は難しい」と回答した。また2017年度から実

施予定の介護予防・日常生活支援総合事業について、現行の介護保険サービスから質・量が低下するのではないかという問いに対して、「現行制度を維持しながら、利用しやすい事業計画を目指す」としたが具体的な計画は検討中とのことだった。

参加した各団体の代表者からは「社会保障費を抑制しようとする国の政策に対して受動的な答えしか返ってきていない。私たちが依拠するのは身近な自治体であり、市だ。そういった思いを汲んでもらえるような回答をいただきたいかったので残念に思う」といった声が聞かれた。

伊丹社保協は今後も社会保障の拡充を目指して伊丹市との意見交換を続けていく予定。



幹事会だより

第340回 12月3日(木)伊丹市立産業・情報センター 参加 5人

◆北阪神支部の会員数と組織率

11/30現在 医科327人(71%)、歯科178人(55%)

◆情勢と医療運動対策

①2016年度診療報酬改定の方向性について、②健康保険組合連合会の新聞広告「健康保険これではよくないのだ」の問題点について、意見交換した。

◆当面の支部活動

- ・2016年1月16日(土)新春政策研究会「マイナンバー」坂本団弁護士(4面に案内)
- ・2016年2月11日(祝・木)レクリエーション企画

「チキンラーメン手作り体験」(近日案内予定)

お問い合わせはTEL 078-393-1807 小西・横山・小川まで